



「鮭の日」PR昼食会

秋サケは最高の健康食

十一月八日、村の小中学校五校では、育ち盛りの将来を担う児童・生徒に秋サケを食べてもらい「県魚」として理解を深めてもらおうと、「鮭の日」の十月十一日を前に学校給食メニューに秋サケを取り入れた「鮭の日」PR昼食会を本年度も実施しました。

「県の魚」である秋サケは、水揚げ量が多く、本村のもっとも重要な水産物で栄養価にも優れていて、魚食の普及と消費拡大を目指し、全県の学校給食利用促進事業が展開されています。

PR昼食会には、村から深渡宏村長、沼田教育長ら五人、村議会から



サケの味を再発見。昼食会はなごやかに行われました(普代中1B)

は熊谷聡議長ほか四人、各小中学校のPTA会長、漁業関係者からは十六人の参加をいただき、さらには久慈地方振興局から山口和彦局長、久慈地方振興局水産部五十嵐和昭水産振興主査そして、育ち盛りの体に栄養満点の給食献立を考えてくださっている学校栄養士の宇部順子さんにも出席いただきました。

参加くださった方々は、それぞれ各教室を訪れ児童・生徒たちと楽しいひと時を過ごし、最後に「サケの雄雌当てクイズ」を行いました。ほぼ全員が正解でした。

深渡村長は「サケの稚魚は放流されてから四年でふるさとの川に戻ってきます。きょうの給食の中にそのサケが入っていることを期待しています。皆さんたくさんサケを食べて、大きく成長しましょう」とPR。

本日の「鮭の日」給食メニューは、サケに、みそとマヨネーズ、おろしニンジン混せてのせた「もみじ焼き」、村産の豆腐を使った「マイタケ汁」、すきコンブ入りの「五目きんぴら」、ご飯、そしてりんごでした。

サケのもみじ焼きやすきコンブ入りの五目きんぴらは、大変好評でおいしさを再発見した昼食会でした。

鳥茂渡小学校で感謝のつどい 出店で労をねぎらう

十一月二十七日、鳥茂渡小学校(菅原伊保校長・児童十二人)では、お世話になった方々とPTA会員らを招いて「感謝のつどい」を同校の図書室で開きました。

農業指導で足を運んでくれた久慈農業改良普及センターの玉山志保改良普及員やトネリコの木でお世話になった芦渡の金子英雄さん、学習発表会でラッパを披露してくれた茂市の野口幹夫さんと澤口邦善さん、そして山確己さん、脱穀の先生である芦渡



全員で「トゥモロー」を力強く歌う鳥茂渡小児童たち

の山崎伍助さん、校内をいつもきれいに掃除してくれる芦渡の横田ヒロさん、ゲートボールを指導してくれたのは、

茂市の野崎ミツエさん、高屋敷タミエさん、そして茂石ミサさんの三人です。児童たちは、お世話になった方々一人ひとりに「ありがとうございました。ありがとうございました」と手づくりの感謝状を贈り、自分たちで考案した出店の買い物参加者全員に楽しんでもらいました。

菅原校長は、「普段の授業にお手伝いいただいた方々に感謝いたします。農園で作った農作物、自然を探索して作ったしおり、家庭科授業で作ったじゃがピザなど、児童十二人という小規模の学校ですが、総合学習では素晴らしい成果をあげました。本日は、ゆっくり楽しんでください」とあいさつ。本年度初めて取り組んだ出店は、じゃがピザ屋さん、くじ引き屋さん、プラン屋さん、しおり屋さんの四店舗。販売されている野菜は子どもたちが丹精込めて作ったジャガイモとサツマイモ。感謝を込めて呼びかける「いらっしやい」に、商品はたちまち完売してしました。

感謝状をいただいた一人、野口さんは「皆さんの感謝の気持ちが伝わってきました。出店屋さんの味も大変よかったです」と激励。最後に児童全員で、手話をしながら「トゥモロー」を合唱、「これからも力を合わせて頑張ります」と誓っていました。

入札の結果

先に行われた村営建設工事の入札結果を次のとおりお知らせします。

- ◆災害復旧工事
 - 弁天漁港災害復旧工事 (14災) ▽入札年月日：平成十四年十一月二十五日
 - ▽工事場所：村弁天地内
 - ▽請負者：宮城建設㈱
 - 落札額：三千四百万円
 - ▽指名業者：㈱小山組 宮城建設㈱ 菅原建設㈱ 和山物産㈱ (株)下斗米組 山口建設㈱
- 黒崎漁港小規模改良工事
 - ▽入札年月日：前同
 - ▽工事場所：村黒崎地内
 - ▽請負者：㈱晴山組
 - ▽落札額：八百万円
 - ▽指名業者：中村建設㈱ (有)古沼建設 (有)普代土木 (株)晴山組 榎谷土建